

教官 各位

学部研究報告委員 \_\_\_\_\_

## 姉妹校送付の研究論文目録の作成のお願い

1. 2003年1月～12月に発行された学会論文集(誌)・学協会誌, 学術関係誌, 研究機関報告, 国際会議報告集等(詳細は下記)の業績のある方は、下記に従ってリストを作成し、12月16日(月)までに担当委員 \_\_\_\_\_宛に提出して下さい。
2. 昨年度のサンプルファイルが、<http://www.str.ce.akita-u.ac.jp/%7Egotou/kiyou/rei02.doc> (MS-Word形式)、<http://www.str.ce.akita-u.ac.jp/%7Egotou/kiyou/rei02.txt> (テキスト形式)にありますので、昨年度のフォーマットになって、MS-Word形式またはテキスト形式で作成し提出して下さい。
3. 提出は、担当委員 \_\_\_\_\_ の指示に従って、メールまたはフロッピーディスクで提出して下さい。
4. テキスト形式で作成する場合、添字などの特殊文字がある場合は、備考欄に「H<sub>2</sub>Oの2は下付添字」のように注釈を書いて下さい。
5. ギリシャ文字などの特殊文字を除き、半角英数文字で書ける文字は全て半角英数字で書いて下さい。コンマや括弧、コロンなどの記号(, . : ; ' " + -)も半角英数文字で書けるものは半角英数文字で書いて下さい。但し、コンマ「,」やコロン「:」のあとには、半角スペースを一つ挿入して下さい。ローマ数字は、IIIやIVのように半角英数字のIやVの組み合わせで書いて下さい(全角文字のローマ数字は機種依存文字なので、文字化けの可能性があります)。
6. 一つの文献が終わるまでは、途中で改行やハイフネーションを入れないで下さい。
7. リストの左端にあるC-2-3のような通し番号の意味は、先頭のアルファベットが学科(地球資源がT, 環境物質がK, 材料がZ, 情報がJ, 機械がM, 電気がE, 土木がC, 素材資源がR)を表し、2番目の数字は、学科ごとの大講座の番号(職員録順)最後の数字が、大講座内ごとの論文の通し番号になります。C-2-のように学科記号と大講座番号だけを記入しておいて下さい。
8. 文献のページは、p.150-157のようにではなく、p.150-7のように書いて下さい。

2003年1月～12月に発行された学会論文集(誌)・学協会誌, 学術関係誌, 研究機関報告, 国際会議報告集等

1. 収録される研究論文は本学部内の研究活動を通じてまとめられた成果に限ります。
  - 新任もしくは転任されてきた教官の場合、本学部赴任以前のもの及び刊行月日が本学部赴任後であっても、前勤務地から投稿されたものは除く。
  - 学(協)会誌に掲載された原著(研究論文)以外のその他については、短報, 寄書, 技術ノート, 資料など, 独創性の強いものは含める。この場合、題目の次に(短報)(寄書)等の種別を明示してください。欧文の場合は(S.N.)(L.)などの省略形を用いてください。但し、例えば速報集であることが論文名に明記されている場合には種別の記入は不要です。
  - 口頭発表(学会, 講演会, 研究会, 談話会, シンポジウム等)の前刷りは除く。
  - 国際会議報告集の場合、通常の学(協)会誌論文集(誌)と同様の形式で論文報告集が出版されているもの(Proceedings)と掲載に相応しいと判断される論文等を含む。
2. 研究論文の目録の書式については昨年(2002年)の第23号の各学科該当分を参考にしてください。例年、誌名・巻号等の書式におきまして著者間の不統一がみられます。不明の点は各学科の委員にお尋ねください。
3. 学内共同研究の場合、第1著者の所属としてください(重複掲載の禁止)。また、論文の内容上、他講座に掲載を希望される場合は、その旨委員までお申し出ください。